



女性はなぜ生きづらいか

支援の脱心理主義化へ向けて

上野 千鶴子 氏

講演会

コロナ禍は、「女性の生きづらさ」を失業やDV・性暴力被害の増加、自殺者数の急増という深刻なカタチで可視化しました。「問題は『こころ』にあるのではない。対人関係に、権力に、差別に、構造にある」と上野さんは言います。本講演会では、なぜ女性は生きづらいのか、そして今、生きづらさを抱えた女性にどのような支援が必要かについてお話しいたします。

後藤さくら撮影

2024年6月7日(金) 18:00 開場 18:30 開演 (終演 20:30)

調布市文化会館たづくり くすのきホール (調布市小島町 2-33-1)

入場無料 事前申込制 (定員 500名)

上野千鶴子

- 1948年富山県生まれ。京都大学大学院社会学博士課程修了。
- 社会学博士。平安女学院短期大学助教授、シカゴ大学人類学部客員研究員、京都精華大学助教授、ボン大学客員教授、コロンビア大学客員教授、メキシコ大学院大学客員教授等を経る。1993年東京大学文学部助教授、1995年同人文社会系研究科教授。2012年立命館大学特別招聘教授。元学術会議会員。
- 専門は女性学・ジェンダー研究。更に、高齢者の介護とケアも研究テーマとしている。
- 著書に『当事者主権』(中西正司と共著、岩波新書)、『ケアの社会学』(太田出版)、『おひとりさまの老後』(法研)、『フェミニズムがひらいた道』(NHK出版)等がある。最新刊は『最期はひとり』(樋口恵子との共著・マガジンハウス)『「おひとりさまの老後」が危ない!』(高口光子との共著・集英社新書)『こんな世の中に誰がした』(光文社)。

主催：社会福祉法人巣立ち会

後援：調布市、調布市社会福祉協議会

お問い合わせ：社会福祉法人巣立ち会 サザン tel - 0422-56-8261

お申込みフォームは
こちらのQRコードから

